

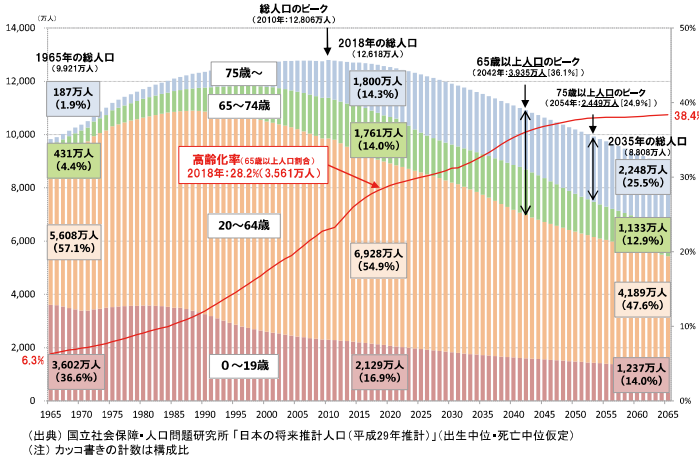
# ◆わたしたちの将来と税について考えてみよう②

## 少子高齢化・人口減少社会

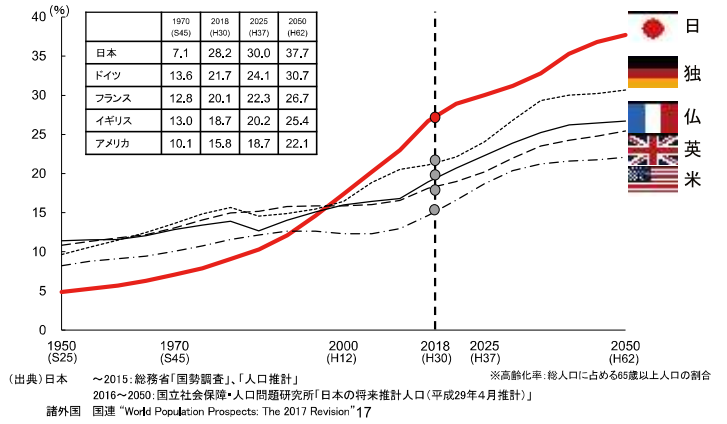
日本は、世界に例を見ないほど急速に少子化と高齢化が進行しています。

また、総人口も2008年の1億2,808万人をピークに減少に転じています。21世紀半ばには、国民の2.5人に一人が65歳以上となり、総人口は約9,000万人に減少することが予測されています。

### 少子高齢化の進行



### 高齢化率の国際比較

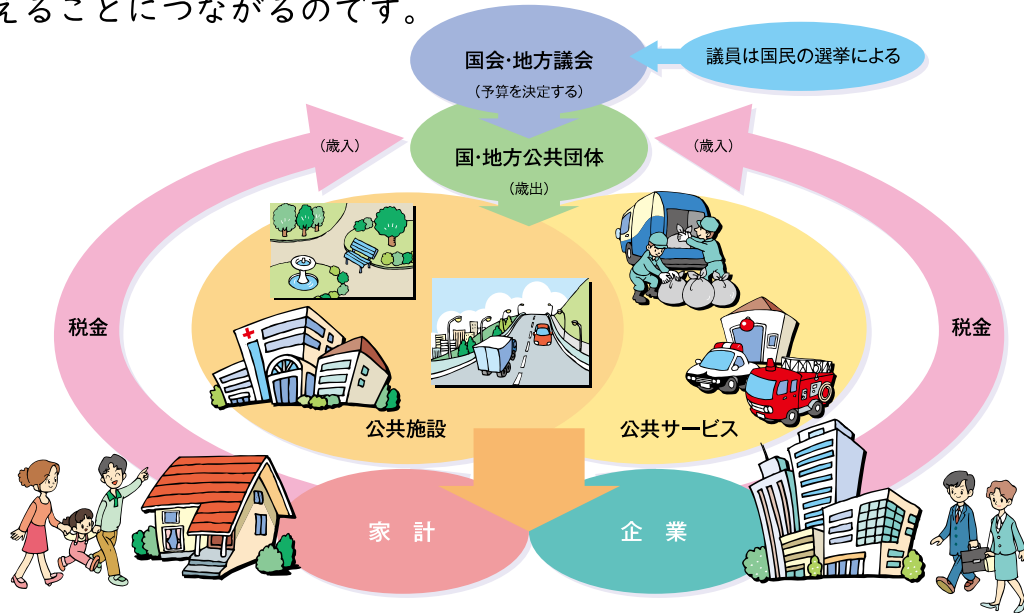


# ◆持続可能な社会

税は、社会の成り立ちと密接に関係しており、わたしたちの生活に深くかかわっています。

少子高齢化・人口減少の進行や公債残高の増加による厳しい財政状況をふまえ、どのような社会づくりをしていくかは、わたしたちみんなで考えていくべき課題です。

歳出面の改革や公債に依存する歳入構造をどうすべきか、「持続可能な社会」をつくり出すために、税の果たす役割を正しく理解し、税のあり方を考えることは、将来の日本の姿を考えることにつながるのです。



## 【マイナンバー（社会保障・税番号）制度】

豆知識7

マイナンバーとは、日本に住民票を有するすべての方（外国人の方も含まれます。）が持つ12桁の番号です。社会保障・税・災害対策の3分野で、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されます。

マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公正公平な社会を実現する社会基盤です。これにより、所得や行政サービスの受給状況を把握しやすくなるため、負担を不当にまぬかれることや給付を不正に受けることを防止するとともに、本当に困っている方にきめ細かな支援を行うことができます。

